

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
 修士課程 一般・外国学生入学試験問題
 【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。
 出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ-A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ-B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ-A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ-B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大門 正克	問題Ⅲ-C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ-D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ-E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ-F・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ-G・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ-H・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ-I・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ-J・問題Ⅳ
経済学研究指導	藁谷 友紀	問題Ⅲ-K・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ-L・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ-M・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	伊藤 守	問題Ⅲ-N・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	野中 章弘	問題Ⅲ-O・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ-A」・「Ⅲ-A」など）を必ず記入すること。
 また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「6枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目] 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定されたAまたはBを選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導)

地理教育で育成すべき専門的コンピテンシーについて述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導)

近年、世界各地で「民主主義の後退」と呼ばれる現象が見られる。ここから歴史教育と公民教育ならびにそれらの学に生じる課題について論じなさい。

問題Ⅱ 社会科教育研究指導の志願者は、次のa~hから1問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 日本史を東アジアのなかで考えることの意義について論じなさい。

Ⅱ-b (東洋史) 近代アジアにおける「西洋の衝撃」について、一つの事例をあげてその意義を論じなさい。

Ⅱ-c (西洋史) 近年の高校世界史教科書では、「市民革命」という用語が姿を消しつつある。具体的な事例を複数取り上げて、その理由を説明しなさい。

Ⅱ-d (地理学) 等質地域と結節地域(機能地域)について、具体例を示しながら説明しなさい。

Ⅱ-e (政治学) 日本における国民の司法参加の意義と課題について論じなさい。

Ⅱ-f (経済学) 情報の非対称性から生じる逆選択とモラル・ハザードについて、それぞれ具体的な例を挙げ、その解消方法について説明しなさい。

Ⅱ-g (社会学) 「宗教」と「世俗化」をキーワードとして、現代日本社会における死と生について、具体的な事例をあげて論述しなさい。

Ⅱ-h (メディア・コミュニケーション学) デジタルメディアが普及して以降の、既存メディア(テレビ、新聞)の役割を、「フロー」「議題設定機能」というキーワードを説明したうえで、この二つの概念を活用しながら論述しなさい。

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目] 【社会科教育専攻】

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定されたA～Oを選んで答えなさい。

Ⅲ-A (歴史学研究指導 日本史1)

以下の史料は、『玉葉』の一節で、九条兼実を失脚させて権勢を増していた源通親が後鳥羽天皇を退位させ、外孫の土御門天皇を即位させようとしていた時期の日記である。これを読んで、以下の(1)～(3)の間に答えなさい。

七日、乙巳、天晴、白馬節会也、内弁大宮大納言実宗卿云々、右大臣叙一位、定勤内弁、立叙列敷之由、世以存之、而無出仕之条、還又為奇云々、讓位事・梁園事、自元不及沙汰云々、幼主不甘心之由、東方頗雖令申、綸旨懇切、公朝法師下向之時、被仰子細之時、愁承諾申、然而、皇子之中、未被定其人、關東許可之後、敢取孔子賦、又被行御占、皆以能円孫為吉兆云々、仍被一定了、此旨、以飛脚被仰關東了、不待彼帰来、来十一日、可有伝国之事云々、桑門之外孫、曾無例、而通親卿、為振外祖之威、嫁彼外祖母之故也、二三歳踐祚為不吉例之由、申出云々、信清孫三歳、範季孫二歳、而博陸又饗応、尤可被忌例、不可及外祖之沙汰之由、再三被申行、是則其息新侍從兼基、為桑門之孫、世人為奇異、為休其嘲、忘帝者之瑕瑾、同源謀云々、愚哉、

以小人之入魂、為小童之才学、国家之滅亡、拳足可待歟、於占卜之吉兆、及孔子賦等之条者、如此之事、只依根元之邪正、有靈告之真偽也、通親忽補後院別当、禁裏・仙洞可在掌中歟、彼卿日来猶執国柄、世称源博陸、又謂土御門、今仮外祖之号、独歩天下之躰、只可以目歟、讓位之間、將軍兩人必可供奉、仍内大臣被停左大將了、明日中納言中将可補云々、其後可被行任大臣、右大將昇丞相、奪其將軍、通親可拜云々、外祖猶必可補大臣歟、彼時、又内府可被任右大臣之条、無異議、於此等之次第者、更不足為愁、猶恐只濫刑也、今日東札到来、其詞快然、還為恐、

* 梁園 皇室の血統、皇族

* 孔子 クジ

* 能円孫 為仁親王(後の土御門天皇)のこと。土御門の母・承明門院は法勝寺の執行を務めた能円の娘であった。

* 桑門 僧侶のこと。

* 信清孫 長仁親王(後鳥羽天皇の皇子)のこと。

* 範季孫 守成親王(順徳天皇)のこと。

* 博陸 関白の唐名。この年の関白は近衛基通。

* 新侍從兼基 藤原兼基。近衛基通の四男。

* 後院 天皇讓位後の居所。後院領など一定の財産があったことから、それらを管理する別当・預などの職員が置かれた。

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目] 【社会科教育専攻】

*国柄 国を統治する権力。

*任大臣 大臣に任じられる際に行われる饗宴。

- (1) 全文をすべて平仮名で読み下しなさい。
- (2) 全文を現代日本語に翻訳しなさい。
- (3) この記事から、九条兼実は何を問題視していたと考えられるか。当時の政治情勢をふまえて論述しなさい。

Ⅲ-B (歴史学研究指導 日本史2)

次の史料は、文化14年(1817)3月付で、長崎奉行に宛てた、長崎代官高木作右衛門の伺書の一部である。この史料の内容をふまえて、近世日本の治者と被治者の関係について論じなさい。

(長崎村・浦上村山里・同村測、幕府領3か村)ノ人数千三拾七人

……

右は私御代官所、長崎・浦上両村百姓之内、田畑所持不仕、老人不具病者等ニ而稼不相成、及難儀候極貧之もの共、……当春以来雨天勝之儀ニ而、稼相成兼、相応之百姓共、銘々之夫食ニ差支、一統難儀之時節ニ付、何分助合等出来兼、捨置候ては及飢候外無之、実々極貧ニ而可差除人柄無御座、無抛去冬御救之人数、其促願立候旨、村役人共申立、右申立候通相違無御座候間、書面之人数、此節御救被成下候様仕度、奉存候、

Ⅲ-C (歴史学研究指導 日本史3)

次の(1)(2)のいずれかを選択して、解答しなさい。

- (1) 1905年の日比谷焼打事件から1918年の米騒動、1923年の関東大震災に至るまで、都市で暴動が続いた。これらの都市暴動の歴史的特徴をまとめて述べなさい。
- (2) 世界大恐慌の世界史的影響をふまえ、世界大恐慌から満州事変、五・一五事件、二・二六事件に至る日本の変化を、世界史とのかかわりに留意し、政治・経済・社会・思想の各局面にわたって述べなさい。

Ⅲ-D (歴史学研究指導 東洋史1)

辛亥革命が周辺民族に及ぼした影響について具体例を一つあげて論じなさい。

Ⅲ-E (歴史学研究指導 東洋史2)

北マケドニア共和国の国名変更問題について、その歴史的背景をふまえて論じなさい。

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ-F (歴史学研究指導 西洋史1)

フランス国王ルイ 9 世の事績について、中世フランス史における位置づけとともに、具体的に論じなさい。

Ⅲ-G (歴史学研究指導 西洋史2)

次の①～③についてそれぞれ論じなさい。

- ① 連邦解体
- ② 記憶の政治
- ③ 全体主義という概念

Ⅲ-H (地理学研究指導1)

地方都市が都市計画やまちづくりを進める上で、広域行政の実施に期待する見解がある。その理由や導入を阻害する現実的な課題について論じなさい。

Ⅲ-I (地理学研究指導2)

現代日本の都市では、転入超過であるにもかかわらず人口が減少する例は珍しくないが、そのような現象が生じる理由について、人口転換や農村の人口と関連付けて説明しなさい。

Ⅲ-J (政治学研究指導)

議会による行政の統制について、日本の制度を念頭に置いて論じなさい。

Ⅲ-K (経済学研究指導1)

経済学では「一般理論 (general theory: Allgemeine Theorie)」という概念がしばしば用いられます。その「一般性」について論じなさい。

Ⅲ-L (経済学研究指導2)

エクイティ・プレミアム・パズルについて、背景にある理論を説明し、パズルの解決法について論じなさい。

Ⅲ-M (社会学研究指導)

「社会が変わること」と、「社会を変えること」の関係について、既存の社会学理論に適宜言及しつつ、具体的な事例を交えて論述しなさい。

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ-N (メディア・コミュニケーション学研究指導1)

メディア研究の中で提起された「沈黙のらせん」の考え方を説明したうえで、この考え方の現代的な適応可能性について論述しなさい。

Ⅲ-O (メディア・コミュニケーション学研究指導2)

日本のジャーナリズムの現状、課題を「人権」の観点から、国際比較をしながら、具体的に論じなさい。

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、次のa, bのうち1問を選んで答えなさい。

Ⅳ-a 社会科・地理歴史科の学習におけるフィールドワークの意義について述べなさい。

Ⅳ-b 特定の国を例にとり、その歴史教育ないし公民教育においてジェンダーの視点が果たすべき役割について論じなさい。